第三種郵便物認可

日本種苗新聞

ずらり主要、重点品目

第155回品種見本市 ブロッコリーは見られず

JAグループ石川は産地化推進のための主要3品目と重点5品目を指定し、農業生産の拡大と農業者の所得増大の実現を最重要課題に位置付けている。主要品目の筆頭はスイカ。ナント種苗は大玉でシードレスの「3Xブラックジャック」と異常気象に強く、品質が安定している「羅皇」を展示して存在感をアピールしていた。スイカの次のダイコンは雪印種苗が極晩中性で肌が滑らかな「晩々G」を出展していた。

「麗旬」（サカタのタネ）

「3Xブラックジャック」（ナント種苗）

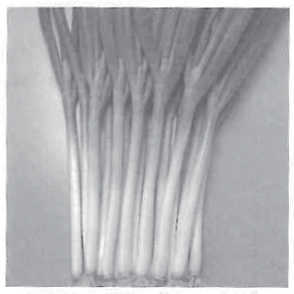
「晩々G」（雪印種苗）

「ティポ」（福井シード）

「華の宝山」（みかど協和）

「AMS－200」（朝日工業）

「若殿」（武蔵野種苗園）



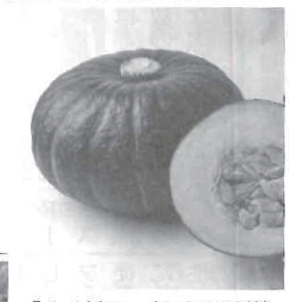
「THN－100」（トーホク）

産地化主要3品目

3番手はトマト。大玉の出展はタキイ種苗、サカタのタネ、朝日工業の3社で、各社とも黄化葉巻病のイスラエル、マイルドの両系統に対応している。タキイ種苗は新発売の厳寒期でも作りやすい「桃太郎ホープ」、サカタのタネは極硬玉で日持ちがよく、赤熟出荷ができる「麗旬」、朝日工業は花数が多く、あらゆる作型に適し、周年を通じて着果がいい「アニモTY－12」。北陸で既に実績のあるタキイ種苗、サカタのタネに対して、朝日工業は新規開拓を目指している。

一方、中玉トマトはタキイ種苗の食味抜群でリコピン豊富な「フルティカ」、ミニトマトはカネコ種苗、朝日工業、みかど協和、福井シードの4社がPR。カネコ種苗は抜群の食味と磨いたような鮮赤の光沢を持つ「プレミアムルビー」、フルーツ感覚の甘さの「イエローミミ」の2品種、朝日工業は黄化葉巻病などの耐病性、品質、食味の三拍子揃った新品種「AMS－200」、みかど協和も黄化葉巻病の耐病性を持ち、作りやすく食味もいい「TY小鈴」、福井シードはヘタが取りやすく、デザート感覚で食べられるプラム系の卵形をしたイエローの「ティポ」と、従来のミディトマトの1・2～1・3倍の収量アップ可能な赤い試験品種「MD－27」を披露した。

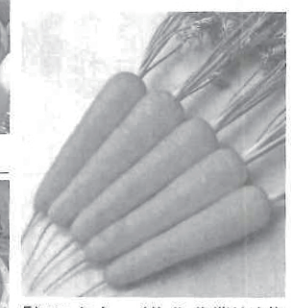
「ストレート」（八江農芸）



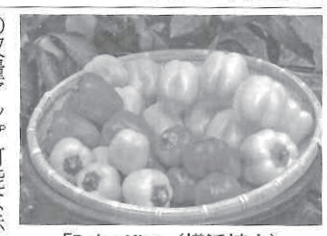
「くり将軍」（トキタ種苗）

「栗五郎」（カネコ種苗）

「スパート」（タキイ種苗）



「紅ひなた」（住化農業資材）



「Baby Kis」（横浜植木）

「ラクロ」（アサヒ農園）

重点5品目の出展

主要3品目に次いでの重点品目はブロッコリー、カボチャ、ニンジン、タマネギ、それに白ネギが入り5品目。これまで関東の白ネギに対し、関西では葉ネギが相場だったが、京阪神市場での白ネギの需要拡大から、重点品目となった。

トーホクは晩抽性で生育が旺盛、肉質が緻密で白根も太くて長い「THN－100」、みかど協和の「華の宝山」は抽苔が遅く、春どりから初夏どりまで幅広い作型が可能な品種。コネギは耐暑性、耐寒性に優れ、周年栽培が可能な武蔵野種苗園の「若殿」、八江農芸の「ストレート」は高温期や多湿期でも秀品率が高い。

九州、北海道産の端境期の7～8月の産地として石川県はカボチャの需要が高い。トキタ種苗の「くり将軍」は果重が2kg前後と大きくて多収、みかど協和の「くりゆたか7」は栽培地や作型による粉質の差がなく、貯蔵性に富む。カネコ種苗の「栗五郎」は着果性、収量性が抜群で栽培が容易。

学校給食など地元市場のシェア確保が必要なニンジン。住友農業資材の「紅ひなた」は肩張りがよく、総太りの円筒形で、夏播きで早出しが可能な品種。また、イエロー、ホワイト、パープルのカラーニンジンはくすみが少なく、肥大性に優れている。トーホクの「アロマレッド」は香水の原料となる成分の含有量が多く、食べると口の中でフルーツのような香りが広がる特長がある。

県内加工業者への安定供給を図るための産地づくりを始めたのがタマネギ。タキイ種苗は早い、大きい、作りやすい極早生種の「スパート」を新発売した。カネコ種苗の「ヒーロー」は甘みがあり、貯蔵性が優れている万能型中早生。トーホクの「慶」は年明けまで貯蔵でき、貯蔵後も食味がいい。ブロッコリーの出展はなかった。

挑戦する品目も多々

産地化リストには入らなかったが、可能性に挑戦する品種の出品も多々。エダマメの中の茶豆は甘みと独特の香りがあるが、好みが分かれる。アサヒ農園の茶豆「あまおとめ」は豆の色を緑に改良したが味と香りは茶豆にこだわった。一方、雪印種苗は独特の香りを抑えた品種「恋姫」と、反対に香りを生かした「夏風香」を出展、消費者の好みを探っていた。

アサヒ農園は寒い石川県ではナスの栽培は向かないとしながらも、単為結果ナスで栽培が容易な「ラクロ」は家庭菜園には最適と売り込む。横浜植木の一押しは、食べ切りサイズのミニパプリカ「Baby Kis」。また、フリルが強い非結球レタスの「ハンサムグリーン」は高温期から低温期まで幅広く栽培可能。住化農業資材のはがきの大きさのロメインレタス「シーザーボーイ」「シーザーガール」は苦みが少なく、食べ切りサイズ。

トキタ種苗はイタリア野菜のスティックカリフラワー「カリフローレ」と、サラダ感覚で食べられる「カリーノケール」を展示、武蔵野種苗園は関東地方で火がついている「パクチー」をいち早く披露、八江農芸のゴーヤ「えらぶ」は苦さが控えめで、生で食べられると評判だった。

〈問い合わせ先〉

▽朝日工業	0274（52）6304	▽ナント種苗	0744（22）3351
▽アサヒ農園	0587（97）2525	▽福井シード	0776（52）0262
▽カネコ種苗	027（290）1086	▽みかど協和	043（311）6300
▽サカタのタネ	045（945）8800	▽武蔵野種苗園	03（3986）0715
▽住化農業資材	06（6204）1877	▽八江農芸	0957（24）1111
▽タキイ種苗	075（365）0123	▽雪印種苗	043（241）7732
▽トキタ種苗	048（683）3434	▽横浜植木	045（262）7405
▽トーホク	028（611）5050		（50音順）